

2026年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
3823004	学校図書館サービス論 School Library Service Theory	家禰 淳一			2	選択	1後期
科目の概要							
<p>学校司書について規定された学校図書館法改正(2014年)以降、学校図書館への司書配置の必要性が高まってきており、専門的な知識が必要とされている。本科目では学校司書に必要とされる、学校図書館における児童生徒及び教職員へのサービスの考え方や各種サービス活動についての理解を図る。</p> <p>★実務経験から、図書館現場でのサービスの問題点・課題を明らかにする。 学校図書館サービス論は、ディプロマポリシーの②と③に相当する。これらを身に付けるために行う。</p>							
学修内容				到達目標			
① 学校図書館サービスの考え方と構造について学ぶ ② 学校図書館の環境整備について学ぶ ③ 学校図書館の運営について学ぶ ④ 学校図書館の利用のガイダンスについて学ぶ ⑤ 学校図書館の資料・情報の提供について学ぶ ⑥ 児童生徒への読書支援・学習支援について学ぶ ⑦ 特別支援を必要とする児童生徒に対する支援を学ぶ ⑧ 教職員への支援を学ぶ ⑨ 学校図書館の課題について学ぶ				① 学校図書館サービスの考え方と構造について説明することができる。 ②③ ② 学校図書館の環境整備について説明することができる。②③ ③ 学校図書館の運営について説明することができる。②③ ④ 学校図書館の利用のガイダンスについて説明することができる。②③ ⑤ 学校図書館の資料・情報の提供について説明することができる。②③ ⑥ 児童生徒への読書支援・学習支援について説明することができる。②③ ⑦ 特別支援を必要とする児童生徒に対する支援を説明することができる。②③ ⑧ 教職員への支援を説明することができる。②③ ⑨ 学校図書館の課題について説明することができる。②③			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例					
前に踏み出す力	主体性	学校図書館サービスを理解するという目標に向かって、指示がなくても図書館へ行き、自ら図書館サービスの現状の確認をすることができる。					
	働きかけ力						
	実行力	時間を要する難しい課題が出題されても、諦めずに最後まで取り組むことができる。					
考え抜く力	課題発見力	疑問に思ったことを図書館の資料等信頼できる資料群を使って迅速に調べ、客観的に考え、判断することができる。					
	計画力						
	創造力	固定観念に捉われることなく、様々な角度から考えることができる。					
チームで働く力	発信力	提出物の中に使用されている文章が的確に表現さされており、読み手にわかりやすい。					
	傾聴力	人の意見を確認しながら聞くことができる。					
	柔軟性						
	状況把握力						
	規律性	遅刻、無断欠席をせず、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。					
	ストレスコントロール力						
テキスト及び参考文献							
テキストは使用しない。レジュメを配布する。							
他科目との関連、資格との関連							
他科目との関連：学校図書館に関連する科目すべて							
学修上の助言				受講生とのルール			
図書館に行き、どのようなサービスが提供されているか観察すること。 公共図書館や大学図書館をよく利用すること。				遅刻は、3回で1回の欠席となる。 6回以上の欠席は0(放棄)判定となる。 欠席した場合でも課題提出は必須です。課題内容を聞きに来て、必ず指定された期限までに提出すること。期日に遅れた場合は受け取らない。			

【評価方法】

評価対象	評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験 筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①	⑥		
			②	⑦		
			③	⑧		
			④	⑨		
			⑤			
	平常評価	小テスト	20	①	⑥	2回（1回10点）の小テストの点数の合計で判定する。 ・1回目8週目の授業 ・2回目15週目の授業 重視する観点：テストは基本的な事項を問うため、授業で説明した基本的な事項が理解できているかを重視する。
				②	⑦	
				③	⑧	
				④	⑨	
				⑤		
		レポート	70	①	⑥	課題提出 テーマ「身近な図書館のサービスと課題について」 分量A 4、2枚 期限は9週目の授業まで 評価ポイント ・広く調べて、自分なりの言葉でまとめている。 ・テーマの重要な点と最新動向を踏まえている。
				②	⑦	
				③	⑧	
				④	⑨	
				⑤		
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	0	①	⑥			
		②	⑦			
		③	⑧			
		④	⑨			
		⑤				
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	⑥	「主体性」自ら知識を深める姿勢・行動ができる。 「実行力」自己の学修目標を設定して、その達成に向けて努力することができる。 「課題発見力」身近な図書館を利用することで、その図書館の課題を認識し、図書館サービスの意義を知り、図書館で行われる実務を想像することで、その課題解決法を考えることができる。 「創造力」学んだ知識を活用し、新たな図書館サービスを企画立案することができる。 「発信力」課題レポートが論理的で、読み手にわかりやすい。 「傾聴力」相手の意見に対して、効果的な質問を通して理解を深めることができる。 「規律性」遅刻、無断欠席など学習意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。欠席した場合は欠席届を提出し、フォローレポート課題を行う。 ※上記の7項目は主体性を重視し、全体を通して総合的に評価する・・・10点	
			②	⑦		
			③	⑧		
			④	⑨		
			⑤			
総合評価割合		100				

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>S評価 小テストで9割以上解答できている。レポートのポイント全て達成しており、論理的かつクリティカルな思考で記述している。学修態度にある7項目が達成できている。</p> <p>A評価 小テストで8割以上解答できている。レポートのポイント全て達成している。学修態度にある7項目のうち、6項目以上が達成できている。</p>	<p>B評価 小テストで7割以上解答できている。レポートのポイントを1つ以上達成している。学修態度にある7項目のうち、5項目以上が達成できている。</p> <p>C評価 小テスト6割以上解答できている。レポートのポイントを1つ以上達成している。学修態度にある7項目のうち、4項目以上が達成できている。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	オリエンテーションと学校図書館の役割	講義と質疑応答 リアクションペーパーの質問や疑問点に対して授業の中でフィードバックする。	学校図書館の役割を説明することができる。	授業レジュメ1の内容を確認する。 重要な点をPCを使ってワードファイルまたはテキストファイルにまとめる。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
2	学校図書館の法制度とガイドライン	講義と質疑応答 リアクションペーパーの質問や疑問点に対して授業の中でフィードバックする。	学校図書館の法制度とガイドラインを説明することができる。	授業レジュメ2の内容を確認する。 重要な点をPCを使ってワードファイルまたはテキストファイルにまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
3	学校図書館の運営体制とマネジメント	講義と質疑応答 リアクションペーパーの質問や疑問点に対して授業の中でフィードバックする。	学校図書館の運営体制とマネジメントを説明することができる。	授業レジュメ3の内容を確認する。 重要な点をPCを使ってワードファイルまたはテキストファイルにまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
4	学習センターとしての学校図書館とカリキュラム連携	レポート課題出題(PCを使ってワードまたはテキストファイルでgoogle classroomに提出) 講義と質疑応答 リアクションペーパーの質問や疑問点に対して授業の中でフィードバックする。	学習センターとしての学校図書館とカリキュラム連携を説明することができる。	授業レジュメ4の内容を確認する。 重要な点をPCを使ってワードファイルまたはテキストファイルにまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
5	読書センター機能と読書活動の支援	講義と質疑応答 リアクションペーパーの質問や疑問点に対して授業の中でフィードバックする。	読書センター機能と読書活動の支援を説明することができる。	授業レジュメ5の内容を確認する。 重要な点をPCを使ってワードファイルまたはテキストファイルにまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
6	情報センター機能と調べ学習・情報リテラシー	講義と質疑応答 リアクションペーパーの質問や疑問点に対して授業の中でフィードバックする。	情報センター機能と調べ学習・情報リテラシーを説明することができる。	授業レジュメ6の内容を確認する。 重要な点をPCを使ってワードファイルまたはテキストファイルにまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
7	GIGAスクール時代の学校図書館とICT活用	講義と質疑応答 リアクションペーパーの質問や疑問点に対して授業の中でフィードバックする。	GIGAスクール時代の学校図書館とICT活用を説明することができる。	授業レジュメ7の内容を確認する。 1回から7回までの講義の重要な点をPCを使ってワードファイルまたはテキストファイルにまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
8	小テスト実施 資料収集・選書・コレクション構成	小テスト 講義と質疑応答 小テストの解答と説明を授業の中でフィードバックする。	資料収集・選書・コレクション構成を説明することができる。	授業レジュメ8の内容を確認する。 重要な点をPCを使ってワードファイルまたはテキストファイルにまとめる。	240	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	レファレンスサービスと学習支援	講義と質疑応答 リアクションペーパーの質問や疑問点に対して授業の中でフィードバックする。	レファレンスサービスと学習支援を説明することができる。	授業レジュメ9の内容を確認する。 重要な点をPCを使ってワードファイルまたはテキストファイルにまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
10	特別なニーズへの対応(特別支援・日本語指導・不登校等)	講義と質疑応答 リアクションペーパーの質問や疑問点に対して授業の中でフィードバックする。	特別なニーズへの対応(特別支援・日本語指導・不登校等)を説明することができる。	授業レジュメ10の内容を確認する。 重要な点をPCを使ってワードファイルまたはテキストファイルにまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
11	学校・家庭・公共図書館・地域との連携	講義と質疑応答 リアクションペーパーの質問や疑問点に対して授業の中でフィードバックする。	学校・家庭・公共図書館・地域との連携を説明することができる。	授業レジュメ11の内容を確認する。 重要な点をPCを使ってワードファイルまたはテキストファイルにまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12	利用指導・図書館オリエンテーションの設計	講義と質疑応答 リアクションペーパーの質問や疑問点に対して授業の中でフィードバックする。	利用指導・図書館オリエンテーションの設計を説明することができる。	授業レジュメ12の内容を確認する。 重要な点をワードファイルまたはテキストファイルにまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13	学校図書館サービスの評価・記録・広報	講義と質疑応答 リアクションペーパーの質問や疑問点に対して授業の中でフィードバックする。	学校図書館サービスの評価・記録・広報を説明することができる。	授業レジュメ13の内容を確認する。 重要な点をPCを使ってワードファイルまたはテキストファイルにまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14	小テスト実施 学校図書館サービスのまとめ	小テスト実施 小テストの解答と説明を授業の中でフィードバックする。	学校図書館サービスの要点を整理し、その概要を説明することができる。	授業レジュメ14の内容を確認する。 8回から14回までの講義の重要な点をPCを使ってワードファイルまたはテキストファイルにまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
15	事例研究とミニ企画	講義と質疑応答 リアクションペーパーの質問や疑問点に対して授業の中でフィードバックする。	事例研究とミニ企画を説明することができる。	授業レジュメ15の内容を確認する。 これまで授業で学んできた内容を読み返し、重要部分を再度確認する。	240	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力